

9月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成29年9月14日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員5名
欠席委員4名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	平野博章
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子

局側出席者氏名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	報道制作局編成部長	宇賀神仁
	報道制作局報道制作部	岩下賢一郎

4. 議 題

(1) 木曜夜の新ワイド番組「だいまじんの「ソコがダイジ」」

(毎週木曜 18:30～21:00放送) について

報道制作部 岩下 賢一郎

(2) その他

5. 議事内容

(1) 木曜夜の新ワイド番組「だいまじんの“ソコがダイジ”」

(毎週木曜 18:30～21:00放送) について

試聴番組：4月～8月までに放送した番組内コーナー等をダイジェストにして
予め試聴

議題説明：番組制作担当の報道制作部・岩下が番組の概要について説明した。

まず、ナイターに代わるコンテンツとして、およそ30年振りに自社制作の夜のワイド番組を立ち上げた経緯を説明した。そして、番組の方向性として、マイカー通勤の多い県内で、20代から50代のサラリーマンをターゲットに据え、地元で活躍するお笑い芸人がメインパーソナリティとして、中継なども交えながら、楽しく大人なワイド番組を目指して放送していることなどを説明した。

次に審議に入る。

各委員からは、

- メインパーソナリティは、関西弁だけれども非常に聞きやすく、かつ栃木の事にも精通している。ゆるい番組の企画・構成は、放送時間にあっていて非常に素晴らしいと感じた。
- いろいろな分野のスペシャリストが、ゲストとして毎回変わり、出演しながら、ゆるい話の中で、帰宅途中のサラリーマンにも分かりやすく話をしてくれている感じがした。内容的にも、ターゲット層にあう話題が散りばめられていると感じた。
- 行政の人間をゲストに出演して頂いた時があったが、ゆるい番組の中で、あれも紹介することとなって、聴く側にとっては忙しすぎるという気がた。
- 番組全体として、テンポも良いし、聴きやすい。
- 全体的にターゲット層に合っている内容で、流しっぱなしで聴いていてちょうどいいと感じた。
- 地元のニュースを取り上げるコーナーがあるが、もっとニュースを深掘してもらえると、さらに楽しく聴けるのではないか。
- 中継コーナーでは、いろいろなお店を紹介しながら、現場にいるお客さんの参加と盛り上がりを感じたので、私は、行ってみようという気になった。
- お店だけの紹介だけではなく、文化やスポーツ・地域の話など、リスナーから「紹介して欲しい」場所やお店を募集するなど、リスナー参加型にすると、もっと良くなるのではないか。

- 帰宅途中のサラリーマンがターゲットという説明だが、車を降りた後も聞きたいなというリスナーを増やすためには、最初の1時間くらいが勝負と思う。もっと色々な情報を入れていった方がいいと感じた。
- ラジオで聞いていて番組が軽快に流れていくという部分では、いい企画だとは思いますが、女性のアシスタントが出演しているなら、もう少し、アシスタントを生かせるといいのではないかと。
- 通勤の時に、ラジオでナイターばかりというのはがっかりだったので、そこに果敢に挑戦して編成を変更しているのは素晴らしい、と感じた。
- 地元のネタにこだわって取り上げている点も評価できる。情報量も多いと感じたし、より充実させていって欲しい。
- 女性のアシスタントについては、何の知識もなく出演している印象なので、もっと情報を追加してもらえ立場として出演してもらいたい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

所属会社の退職に伴い審議委員を辞任した鈴木委員の後任として、新たに古口悟委員が就任した事を報告した。しかし、今回の審議委員会を、所用で欠席されたため、次回の審議会で、改めて全委員に紹介する事とした。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(平成29年10月1日 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載 (平成29年9月26日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き (平成29年9月26日～)

以上